年間授業計画

高等学校 令和８年度（１学年用）教科　　人間と社会　　科目　　人間と社会

教　科：　人間と社会　　科　目：　人間と社会　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　1 学年　H1 組　　H2 組　　F　組　　A　組

教科担当者：（　山口　鶴岡　川島　松田　橋本さ　梁島　酒井　山田　）

使用教科書：（ 人間としての在り方生き方に関する教科「人間と社会」改訂教科書　東京都教育委員会　）

教科　人間と社会　　の目標：

【知識及び技能】
・様々な価値や考え方があるという多様性の理解や他者と共同することの意義の理解等
・他者と協働する技能等
・必要な情報の収集・整理・分析等

【思考力、判断力、表現力等】
・一面的な考察から多面的・多角的考察への変化から自己の行動の変化等
・自他の考え方や調べた知識等を他者に伝える力等

【学びに向かう力、人間性等】
・他人事から当事者意識をもち、学習に主体的に取り組もうとする姿勢等
・社会の一員として主体的に関わろうとする姿勢等
・問いや課題を見付け、学習に主体的に取り組もうとする姿勢等

科目　人間と社会　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・様々な価値や考え方があるという多様性の理解や他者と共同することの意義の理解等 ・他者と協働する技能等 ・必要な情報の収集・整理・分析等	・一面的な考察から多面的・多角的考察への変化から自己の行動の変化等 ・自他の考え方や調べた知識等を他者に伝える力等	・他人事から当事者意識をもち、学習に主体的に取り組もうとする姿勢等 ・社会の一員として主体的に関わろうとする姿勢等 ・問いや課題を見付け、学習に主体的に取り組もうとする姿勢等

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・スマートフォンを利用した高度な情報化社会に生きることを自覚し、遵法精神、公徳心に関する道徳的価値を深め、自己を理解し、自己を管理する能力を育成する。	第6章 スマートフォン時代のコミュニケーション	【知識・技能】 自己との実生活や実社会とのかかわりから、生徒が新しい課題を自ら見出したり、考察に必要な知識を身に付けたり、情報を整理・分析したりすることができる。 【思考・判断・表現】 自己と社会との関わりから必要な情報を集め、整理・分析し、物事を広い視野から多面的・多角的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ホームルームや学年といった集団の中で、演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことができる。	○	○	○	6
	・体験活動を通じ、人間と社会の目標を深めさせる。 ・他者と協働しながらよりよい人間活動を築くことについて考え、社会参画、公共の精神に関する道徳的価値を深め、社会の一員として主体的に行動し、チームで力を発揮する能力を育成する。	【体験活動1】 1.出身中学校への寄せ植え草花鉢装飾 第8章　チームを動かす力	【知識・技能】 リーダーシップの発揮の仕方等について情報を整理し理解することで、活動に取り組むことを通じて解決のための話し合いを進めたり、自分の考えを効果的に説明したりする技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 生徒自らが情報を収集し、整理・分析したものを基に考察した内容を意見として発表したり討論したり、自分の考えを文章にまとめたりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生徒が、課題解決を図って、よりよい社会の一員として積極的に課題解決に取り組むことができる。	○	○	○	13
2学期	・ワーク・ライフ・バランスについて理解し、相互理解に関する道徳的価値を深め、自分自身、そして共に生きる人たちが求める生き方を互いに理解し合い、尊重する態度を育成する。	第9章　ワーク・ライフ・バランス	【知識・技能】 ワーク・ライフ・バランスについて示されたグラフ～情報を読み取り、整理・分析することができる。また、活動を通じて、解決のための話し合いを進めたり、自分の考えを効果的に説明したりすることができる。 【思考・判断・表現】 生徒自らが情報を収集し、整理・分析したも	○	○	○	4
	・体験活動を通じ、人間と社会の目標を深めさせる。 ・社会や環境などに配慮して消費について考え、公正、公平、社会主義に関する道徳的価値を深め、社会を形成する能力、主体性を育成する。	【体験活動1】 ・落ち葉清掃 【体験活動2】 ・地域清掃等 第11章　消費者市民社会	【知識・技能】 社会や環境に配慮して消費について考え、児童労働や低賃金労働問題、環境汚染、持続可能な社会の実現に向けた世界の動きについて知識を身に付け自分の消費活動に責任を持つことができる。 【思考・判断・表現】 生徒自らが情報を収集し、整理・分析したものを基に考察した内容を意見として発表したり討論したり、自分の考えを文章にまとめたりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生徒が、課題解決を図って、よりよい社会の一員として積極的に課題解決に取り組むことができる。	○	○	○	12
							合計
							35